

宗学科 法華仏教コース／日本宗教・文化コース

仏教学科 文化遺産・芸術コース／歴史・思想コース

令和7年度 国内仏教文化研修 報告

日本文化の幕開けと法華仏教の転変を泉州・大和に追う

立正大学仏教学部では「国内仏教文化研修」を開講し、日本各地の仏教文化に直に触れ、理解を深める学習機会を設けています。当研修は4年間の学習において毎年度受講することができ、また社会人オープン講座の科目でもあります。

今年度は令和7年9月11日～13日にかけて、標記のテーマのもと、大阪と奈良にまたがって、古代日本の宗教文化の様相を窺う史跡、および近世初頭の日蓮教団を巻き込んだ事件に関わる宗門史跡等を訪問し、体験的に学んできました。

1日目は、大阪府堺市に入り、百舌鳥・古市古墳群を市役所展望ロビーから俯瞰し、仁徳天皇陵の現地ではその大きさに圧倒され、堺市博物館で知識を整理しました。さらに近世初頭の天文法難に関わる史跡の妙國寺・妙法寺では、宗門が翻弄された歴史の一コマを学びました。妙國寺では宗祖の御真蹟を拝観できました。

2日目は、奈良県境に近い太子町の叡福寺で、聖徳太子の陵墓を拝観するとともに、日蓮聖人が太子を偲んで参籠されたと伝えられる旧跡も参拝できました。ついで二上山の山並みを越えて奈良県明日香村に入り、蘇我氏の創建になる飛鳥寺では、日本最古の仏像と目される「飛鳥大仏」銅造釈迦如来坐像を拝観。最新の研究では「顔は原型のまま」と分析されているとご住職から伺いました。飛鳥資料館では、斉明天皇（天智・天武の母）による石造物「須弥山石」「石人像」などの実物を見学でき、7世紀における国作りの一端を感得しました。

3日目は、奈良市に入り、唐招提寺で戒壇と本邦最古の人物像である鑑真和上像（倣制）を、東大寺で戒壇堂と盧舎那大仏像を見学。教団存立の基礎である戒壇の、最初期の様子を彷彿とさせられました。また聖武天皇によって総国分尼寺とされた法華寺では、国作りにおける「法華経」の意義を考えました。

わが国の始まりと、近世での転変と、様々な時代において仏教が歴史のダイナミズムとなっていたことを体感する研修となりました。



妙國寺にて

特色ある教育トピックス

立正大学仏教学部で学びませんか？ —今後の日程—

◎科目等履修生制度 僧階講座などを受講する制度で、単位を修得できます

春期出願期間：令和8年3月4日（水）～9日（月）

※詳細につきましては、立正大学ホームページ（https://www.ris.ac.jp/faculty_graduate_school/license_qualification_program/system_guidance/index.html）をご確認下さい。

◎社会人オープン講座 単位認定はありませんが、学部より修了証が交付されます

出願期間：令和8年2月20日（金）～3月5日（木）まで【必着】（郵送のみ）

面接選考：令和8年3月27日（金）14：00より

※詳細につきましては、立正大学仏教学部ホームページ（https://bukkyo.rissho.jp/news/240209_open_society.html）をご覧ください。

◎春のオープンキャンパス

品川キャンパス：令和8年3月15日（日）10：00～16：00

※参加にあたっては事前申込みが必要となります。内容・参加方法などの詳細につきましては立正大学入試情報サイト（<https://admissions.ris.ac.jp/>）の「イベントに参加する」>「オープンキャンパス」をご確認下さい。

入学・受講最新情報

仏教学部開設科目の一部はオンラインで自宅等から受講・単位修得できます！